

(4) 本会議決議一覧（議案審議表付）

番号	件名	提出者	提出 月日	提出 委員会 託議決 委員会 本会議 決	備考
1	大韓航空機撃墜事件に関する決議案	遠藤九要君	五八、九、二	可決 五八、九、三	委員会審査省略要求 事件
2	ロッキード事件に係る政治的道義的責任究明に関する決議案	市川正一名君	一〇、七	未了	委員会審査省略要求 事件
3	政治倫理確立に関する決議案	八百板正名君	一〇、七	未了	委員会審査省略要求 事件
4	内閣総理大臣中曽根康弘君問責決議案	市川正一名君	一一、八	未了	委員会審査省略要求 事件
5	法務大臣秦野章君問責決議案	市川正一名君	一一、八	未了	委員会審査省略要求 事件
6	議長不信任決議案	市川正一名君	一一、六	否決 一一、六	委員会審査省略要求 事件
7	選挙制度に関する特別委員長松浦功君問責決議案	山中郁子君	一一、六	否決 一一、六	委員会審査省略要求 事件
8	内閣委員長高平公友君解任決議案	内藤功君	一一、七	否決 一一、八	委員会審査省略要求 事件

大韓航空機撃墜事件に関する決議案（遠藤要君外九名発議）
（決議第一号）

五八、 九、一二 提出
九、一三 可決

決議

九月一日未明、邦人二十八名を含む二百六十九名の乗客・乗員を乗せた大韓航空機がソ連軍用機により撃墜された事件は極めて重大であり、本院はかかる事件の発生を深く遺憾とし、この事件の犠牲者に深甚なる哀悼の意を表するものである。

いかなる理由があるにせよ、非武装かつ無抵抗の民間航空機を撃墜することは人道と国際法に反するのみならず、国際民間航空の安全確保の観点からも許されざる行為であり、強く非難さるべきである。

それにもかかわらず、この事件に最大の責任を有するソ連政府が、事実関係についていまだ納得のいく説明を行わず、また、関係国による搜索活動への協力を拒んでいる態度は誠に遺憾である。

よつて政府は、関係各国との緊密な協力のもとに、次の事項について適切な措置を講ずべきである。

一、あらゆる方途により、事件の真相究明に努め、大韓航空機が領空侵犯をするに至つた原因を含めて可及的速やかに全貌を明らかにすること。

二、ソ連政府に対し、ソ連領海における関係国の搜索を許可し、搜索活動に協力するよう求めること。

三、ソ連政府に対し、自国の責任を明確にし、公式の謝罪とこの種の事件の再発防止について保障措置を求めること。

四、犠牲者の補償については、ソ連政府並びに大韓航空にに対し十分な措置を講ずるよう求めること。

五、事件の再発を防止し、国際民間航空の安全を確保するため、国際機関等において適切な措置が講ぜられるよう努めること。

六、今回の事件の背景に国際的軍事緊張があることにかんがみ、国際緊張緩和のために最大の努力を払うこと。
右決議する。